

ネット競売サービス

来月下旬から開始

SCNなど

インターネットオークション（競売）事業への共同参入を表明していたソニーコミュニケーションネット

（DeNA、東京・渋谷、南場智子代表取締役）の三社は、十一月下旬にネット競売サービス「BIDDE RS（ビidders）」を開

始する。

企画運営のDeNAの事業基盤強化を狙い、十一月初めにも同社の資本金を四千万円から一億五千万円に増資する。増資後の出資比率はDeNA代表取締役の南場智子氏の創業者グループが三四%、SCNとリックが各三三%。

年末には同事業への協賛企業を対象に第三者割当増資を実施、来春をめどに一般投資家を対象に再び第三者割当増資を実施する。日本テクノロジーズベンチャーパートナーズ投資事業有限責任組合の支援も仰ぐ。事業拡大に向け、早期の株式公開を目指す。

三社は後発組だが、SCNのネット接続サービス「Soi-net」やリクルートの国内最大の個人間売買情報サービス「I-SIZ E」と連携、ブランド力や集客力を武器にヤフー、米eBayなど先発組を追撃する。二〇〇一年には国内取引高が年間一千億円以上に達するとみられ、三社は会員数百万人、取引高シェア約五割を目指す。